

27.0 Scenario VI:

The Nazi Total War: 2005

Variant Design: David Lamb@2005–2006

Original English Version: "Dave Lamb's Wargame Page"



Japanese Translation: Shin-ichi "Moltke_SS" SHIMIZU

Germany: 1991-1995
獨逸: 1991-1995

▶ より穏健な頭脳が打ち克ったとき、NATOと歐洲は差し迫った觀のあった戦争を一時的な作ら食い止めることが出来た。冰島はレイキャビクに於いて大獨逸國宰相ゲルハルト・シャハト [Gerhard Schacht] が主催する緊急首脳會談が、多くの歐洲諸國首脳達の臨席の下、北米合衆國大統領ロバート・ケネディとの間で催された。其の結果、兩首脳は戦争の瀬戸際にあった各自の祖國（並びに同盟諸國）を救うこととなった。歐洲並びに全世界の殆どが安堵の溜息を漏らした。

▶ 註目に値する二つの例外が存在した。其の第一は SS の殺氣立った指導者達である。彼らは数十年來の仇敵を相手とする權^{a War of Dominance}力闘争を第一義と捉え、其の爲の準備も相手以上に怠りがなかった。彼らは決して政治的に無能力な存在などではなかったが、未だに彼らの謂う“第二の背後からの一突^{stab-in-the-back}き”——即ち、嘗て第一次世界大戦の早過ぎた終結を齎した旧事程に悪名高いものではなかったが、第二次世界大戦の勝利を奪った、時ならぬアドルフ・ヒトラーの死である——に依って自らが拘束されているものと認識していた。彼らの悲憤慷慨にも拘らず、世界中で此れに注目した者は殆どいなかった。（後に多くの者達が此のことを後悔することになる。）

▶ 第二の例外は露西亞大統領、アンドレイ・ジレンコフ [Andrei Zhilenkov] から齎された。國際社會^{なかにずく}、就中 NATO 政策の場に於いて露西亞が果たすべき役割が低下し続けている——右翼強硬派である此の政治家は餘りにも長い間そう受け止めていたのである。恐らく決定的であったと思われるのは、冰島に於ける平和サミットから露西亞が除外されたことであろう——事實、露西亞は彼の地で會談の最終結果を知らされたに過ぎなかったのである。ジレンコフ大統領には將來に亘って此れを黙認する積もりは更々なかった。露西亞は嘗て第二次世界大戦前に國際社會で占めていた正當な地位を取り戻すべきである——然もなければ死あるのみ。

▶ 向後二度と政治的に無價値な地位には陥いるまじと云う斷固たる決意と共に、ハインリヒ・ヒムラーと SS 指導部は獨逸の政治的指導權を要求し、併せて此れを、必要とされるあらゆる手段を講じて（**彼らの觀點に立って**）變更する方法を模索していた。恰も此の目標に歩調を合わせる様にヘニング・フォン・トレスコウ [Henning von Tresckow] の孫に依って（此の世界で一般化し始めたウェブ上で）公開された、自らの祖父がアドルフ・ヒトラー暗殺事件に於いて重大な役割を果たしたと云う世情を騒然とさせずには置かない證據も SS を利することとなった。更に多くの證據に依って、第二次世界大戦中の眞實を葬り去らんとした國防軍總司令部の揉み消し工作や謀議の數々が浮かび上がった。筋金入りの國民社會主義者や SS は長年に亘って國防軍と政府に依る背信行為を訴え續けてきたのであるが、斯様な彼らの主張が突如として正當性を帯びることとなった。國民大衆に依る大規模な抗議行動が不穩状態の醸成並びに現政權打倒の脅威を煽った。國民大衆は國防軍を支持する者と SS を支持する者に分裂した。

▶ 親衛隊の表看板たるハインリヒ・ヒムラーが不可解な状況下で突然死を遂げた後、情勢は悪化の一途を辿った。國防軍防諜部要員による無様な失敗に終わった暗殺計画はヒトラーの死と其れに纏わる謀略の責任の一切をヒムラーに歸するだけでなく、彼が小見性愛者^{Pedophile Pornography}であると云う印象を植え付けようと試みたものであった。此等總てが容易に反駁され、數日の内に國防軍將兵と武裝親衛隊員との間（海軍は中立の立場を守った）で暴力による對立が勃發した。

▶ 兩組織間の闘争勃發に備え國防軍と親衛隊は何れも長期に亘って緊急時計劃を立てていたが、速やかな勝利を掴んだのは SS であった。無慈悲な効率性を以って SS はベルリン官廳街並びにツォッセン近郊を支配下に置いた——國防軍總司令部の指導者達は逃亡を餘儀なくされた。多くの者達が捕らえられ、或いは殺されて仕舞った爲に、

彼ら指導者達が新たに指令本部を再度確立出来る見込みは全くなかった。瞬間に發生した獨逸國內の暴力行為を諸外國は不意打ちを以って受け止めた——其の結果、殆どの NATO 諸國が獨逸陸軍に對する支援に消極的となり、或いは此れを結集することが出来なかった。斯くして、國民社會黨の核心部分を排除すべき絶好の機會は失われて仕舞ったのである。（不可解なことだが、幾つかの證據から SS が露西亞から隱密裏に武器や外的支援を仰いでいたことが明らかになっている。）

▶ 戦闘は 2 週間を經ずして終熄し、政府並びに軍の他の諸部門（華沙協約機構統一軍を含む）に對する SS の支配權が確固たるものとなった。シャハト宰相は辞任を餘儀なくされ、國外へ逃亡した。國境は封鎖され、獨逸國境の向こう側には新たな鉄のカーテンが下ろされた。政府代表の職務（“總統”の稱號の復活を含む）には密かにヒムラーの SS の後継者、ハンス・シュレーダー [Hans Schröder] が擬された。新たな“長いナイフの夜”たる大々的な改革が實施され、國民及び政府から反對勢力が瞬間に肅清された。西側との條約は破棄され、新たな同盟關係が樹立された。

▶ 西方の敵陣營に對する獨逸の優位を確立することを目途として、ナチ新政府は長らく休眠状態にあった軍部並びに科學計劃の効率化を初めとする大規模改革に乗り出した。其の第一弾として、政府は NATO 軍と互角に並ぶ爲の獨逸空軍の拡張を目的とする大幅な軍需資材の再配分を開始した。搭乗員養成の爲の大々的な募兵活動が開始された。尤も此の空軍拡張策は、實際には獨逸帝國内部で開始された遙かに狡猾にして機密性を帯びた計劃を隱蔽するものだったのである。戦術核兵器の分野に於ける若干の劣勢を挽回する爲に核以外の大量破壊兵器が開發された。西側諜報機關の眼から隱蔽することは困難であったが、新政府は極秘裏に生物化學兵器の大量生産並びに大規模備蓄を開始した。来るべきあらゆる戦争に關連して、華沙協約機構は必要缺くべからざる通常戦闘の一部としての化學兵器を重要視することとなる。

更に、斯様な兵器に係る防護手段に關しても華沙協約機構統一軍は敵を凌駕していると言う確信を深めることとなるのである。

▶ 他の分野では、1960年代と70年代に締結された宇宙條約をナチが破棄したことに伴い、新たな軍備拡張競争が開始された。低地球軌道^{Low Earth Orbit}を周回する宇宙ステーションの完成と併せ、1990年代後半を通じて周回軌道に打ち上げられる衛星の数が著しく増加したことに西側諸國は不安を覺えた。核兵器搭載の事實は確認されていなかったものの、恐らくナチが使用するであろう兵器に西側は恐怖した。

**The World: 1995-2005
世界：1995-2005**

▶ 古きナチに據る新政權が誕生した結果、世界中の紛争地帯^{Hot Spots}に於ける緊張状態が増大した。亞細亞、阿弗利加、そして南亞米利加と云った旧殖民地國家のあらゆる地域に於いて代理戦争が勃發した。此等の紛争は概して北米合衆國と大獨逸國との關係が齎したものであった——對立する陣營の一方を兩國は夫々支援していたのである。

▶ より深刻であったのは、1996年の以色列保護領^{イスラエル} [The Israeli Protectorate] に對する埃及及び叙利亞軍の侵寇作戦をナチが支援したことである。SS及び國防軍軍事顧問團の統率下にあった叙利亞軍はテルアビブ及びエルサレムの雙方から10哩^{マイル}以内に到達したが、其れも鮮やかな攻勢^{Counter Offensive}移轉を開始した以色列軍に依って侵寇軍の先鋒が粉碎^{Decimated}されるまでのことであった。とは謂え——合衆國海兵隊のハイファ上陸がアラ伯軍とナチスをして關連意圖の重大性を悟らせたことと併せて——以色列・合衆國兩軍に依る“核に依る報復”と云う脅迫が爲されるまでは侵寇作戦は殆ど成功しかけていたのである。アラ伯軍は撤退し、爾後9年間、不安定な停戦状態が續くことになる。

▶ 亞細亞では、遙か遠い——しかし乍ら、強力であることには違いない歐洲の同盟國から支援を受けた中華民國^{Nationalist Chinese}が、より一層其の活發さを増していた。最新の巡航ミサイルや空中機動ヘリコプターを供與された中國軍は、印度及び巴基斯坦で發生した反西側暴動（無論、中獨の紐付である）に乗じて東南亞細亞條約機構及び環太平洋軍に挑戦することにした。民國93年[2004]5月、國民革命軍は西側の目が餘所に注がれている隙を突いて德志式^{German-Style}の電撃戦を開始し、朝鮮半島を南下——2週間の内に其の大部分を征服した。此の猛攻撃に對する抵抗據點は僅か二箇所しかなか

った。一つは朝鮮^{Korea}の首府・京城で、壓倒的に強大な環太平洋軍航空部隊から補給と支援を得た日本軍近衛師團1個に依って保持されていた。米朝軍から成る小規模な國際聯合軍が釜山港を中心とする橋頭堡を確保していた。

▶ 河内^{Hanoi}に於いて雙方の外交團が停戦に關する論戦を繰り広げている最中、中國軍が占領成果を確保したるものにし、朝鮮に於ける聯合軍最後の抵抗を粉砕すべき死に物狂いの挑戦が爲されている一方、米英軍の支援を受けた環太平洋諸國は日本の九洲に小規模な部隊を集結させた。第二次世界大戦以來最大規模の集中配備が爲された航空部隊の支援の下、5個師團から成る巨大な空中機動部隊及び3個水陸兩用部隊が朝鮮の仁川に着上陸し、其の水際立った計劃と同様、見事に實行された。ノーマン・シュワルツコフ大將は空海橋頭堡を確立し、機甲部隊2個を揚陸させ——朝鮮半島を縦斷する側面反攻を開始し——38度線の南で中華民國軍2個軍團を包圍することに成功した。此れに引き續き、2個軍團の殘餘部隊を救出する爲に北から出撃した中國軍救援部隊との間で一進一退の攻防戦が展開された。凡そ一年後に停戦と部分的撤兵が戦闘終結を齎す以前、最終的に對峙線は38度線の北側で膠着状態に陥った。

**2005...The Nazis Strike Back
2005...ナチの逆襲**

▶ あらゆる直接行動に要する資源と其の好機を待つ數年が過ぎた後、二つの出来事に依って歐洲戦争が再び世界中の耳目を集めることとなった。

▶ ナチの政治宣傳は西歐全土の右翼的社會分子から大規模な支援を集結した。しかし、獨逸の第二次世界大戦時に於ける嘗ての同盟國——伊太利亞に勝る衝撃度と意外性は他になかった。社會的な不満を抱える北伊太利亞の労働者の感情に特に訴えて、親ファシスト分子は伊太利亞政府内の民主的傾向を有する指導者達に取って代わったのである。獨逸は經濟援助物資を通じて伊太利亞との結び付きを強化した。2005年4月までに權利放棄した伊太利亞は、殆ど公式にNATOを脱退した。

▶ 同じく西側の観測者に衝撃を與えたのは露西亞に依るNATO脱退と、露西亞と華沙協約加盟諸國との間に締結された不可侵條約に關する獨露の共同声明であった。此の共同声明が發表されたのは、鉄のカーテンの背後で行われている總動員の兆しをNATO諜報機關が察知するほんの數日前のことであった。NATO諸國は差し迫った戦争の兆候に對應し慌しく動員を開始した。

開始時の政治指標：55

シナリオの期間：26週間（自M+1至M+26）

先行配置者：NATO軍

勝利條件：標準

特別ルール：シナリオの諸規則に従い配置するものとするが、特に斷り書きが爲されている場合を除き、M+9からM+26までの増援及び補充に關してはシナリオIV（キャンペーン・ゲーム）に従うこと。ルール13.11項が適用される。以下に斷り書きが爲されている場合を除き、キャンペーン・ゲームの開戦前情勢表 [Pre-Game Events Table] が（地圖上にユニットを配置する前に）1回使用される。

**Nazi-Russian Non-Aggression Pact
1. 獨露不可侵條約**

▶ 政治指標が1から25までの範圍内にある場合を除き、政治情勢[5]は出来し得ない。（後述の修正版政治情勢表を参照。）

**Political Events
2. 政治情勢：**

▶ 後述の新たな政治情勢を同表に追加すること：

**Italian Alliance Shift
3. 伊太利亞同盟關係移行：**

▶ NS軍プレイヤーはダイス1個を振る。ダイスの目が1-2であった場合、伊太利亞はNATOを脱退してナチ=華沙協約機構に加盟し、大獨逸と同盟關係を結ぶ。ダイスの目が3-4であった場合、伊太利亞は中立國となる。（開戦前情勢[2]に従うこと。）ダイスの目が5-6であった場合、伊太利亞は事實上の中立國であるが、親獨傾向を有する准交戦國となる。獨逸は（補充ポイントを要さずに）SS義勇師團“Friedrich Barbarossa”を獲得し、同師團は伊太利亞國境に隣接する何れか任意の大獨逸國內ヘクスに配置される。政治情勢[25]も併せて参照すること。

原註：伊太利亞が大獨逸と同盟關係にある場合、ルール9.16項：佛伊間移動は適用されない。

**NATO Neutron Bombs
4. NATO軍中性子爆弾：**

▶ NATO軍プレイヤーは1ゲームターンに就き友邦であるNATOの都市一つを核攻撃の標的とすることが出来る。NATO諸國の首都^{●●}を標的とすることは出来ない。

**Superior NATO Air Munitions
5. NATO軍航空砲彈の優位：**

▶ 阻止爆撃・制圧戦闘CRT並びに航空優勢CRTでのダイス判定の際に+1DRMを加算すること。

6. NATO 軍陸上砲弾の優位:

▶ NATO 軍陸上ユニットが攻撃を実施する場合、陸上 CRT に於けるダイス判定に対して+1 DRM を加算すること。

7. 獨逸化學戦:

▶ 何れか任意のターンに於いて、NS 軍プレイヤーは**化學戦**を宣言することが出来る。化學戦が宣言された瞬間、總ての NATO 軍戦術及びヘリコプター航空ユニットが実施する阻止爆撃、制圧戦闘並びに航空優勢に關し、各々の CRT に於けるダイス判定に対して-1 DRM が適用される。加えて、NS 軍プレイヤーは各ターンに就き最大 5 ヘクスに対して、化學戦マーカー（留意：斯様な戦闘で使用する爲に、雙方のプレイヤーは **Command Magazine Issue**

No. 8 所収の 5 個の“ガス”カウンターの援用を考慮してみることも一興である。）を使用した陸上攻撃（通常型戦闘に限る）を実施することが出来る。戦闘比の計算に先立って其の旨を宣言するだけで斯様な攻撃（並びにカウンター配置）を実施することが出来る。（11.4 項）**化學戦マーカー**が配置されている NATO 軍占領下の都市ヘクスに對する攻撃に關しては、下記の一覧に基き、陸上 CRT に於ける通常のものとは異なるコラムを以って此れを解決すること：

- 化學戦が宣言されたゲームターン：右へ 4 コラムシフト
 - 化學戦が宣言された次のゲームターン：右へ 3 コラムシフト
 - 上記以降の各ゲームターン：右へ 2 コラムシフト
- ▶ 此等のコラムシフトを適用する爲には、少なくとも 1 個の攻撃側 NS 軍ユニットが補給下に置かれていなければならない。
- ▶ 化學戦の実施に際しては**氣象條件**（19.17 項参照）の影響を被る可能性がある。濃霧 [Fog] シフトは上記一覧に加えて更に 1 コラム右ヘシフトする。（最大 4 シフトを上限とする）天候が降雨 [Precipitation] の場合、化學戦を実施することは出来ない。

8. 衛星兵器並びにナチ宇宙基地:

▶ 核兵器に於ける NATO 優位と云う劣勢に對處する爲、ナチスは宇宙ステーション（西側の専門家は冗談交りに“**The Death Star**”と呼んだ）と一連の軍事衛星を配備した。兩陣營はスパイ衛

Political Events Table 政治情勢表				
Index Level 指標段階				Event 政治情勢
1-25	26-50	51-75	76-100	
-	5	5	6	東部戦線異状なし [21] *
3	-	-	4	中立移行 [25] *
1-2	1	-	-	伊太利亞和睦 [37] *
4	4	5-6	5-6	獨逸空軍戦力資源 [43]
2-3	3	3	2-3	環太平洋軍参戦 [44]
1-3	1	-	-	西班牙再参戦 [45]
2	-	-	-	義勇部隊戦闘忌避 [46]
5	-	-	-	義勇部隊狂信化 [47]

**Event Explanations
情勢變化の説明**

[21] **東部戦線異状なし**：（下記の通り變更する）ステップ數に關しては従前通りとするが、例外として NS 軍プレイヤーは其の内最大 2 ポイントを航空補充として受領することが出来る。

[25] **中立移行**：（下記の通り變更する）中立を維持している各國に就いて夫々ダイスを 1 回ずつ振る——但し瑞西を除く。假に政治指標が 25 以下であり、且つダイスの目が 1, 2, 3 であった場合、當該國は NATO 陣營として参戦する。4, 5, 6 であった場合は中立を維持し續ける。假に政治指標が 76 以上であり、且つダイスの目が 1, 2, 3 であった場合、當該國は NS 陣營として参戦する。4, 5, 6 であった場合は中立を維持し續ける。瑞西に限り中立移行に關する例外が存在する。同國がゲームに参戦するのは、其の領域が NS 軍に依る侵犯を受けた場合に限られる。

[37] **伊太利亞和睦**：（伊太利亞が獨逸と同盟關係にある場合に限り、下記の通り變更する）伊太利亞の社會主義者及び民主主義者は政府の支配權を握り、狂氣に満ちたナチとの同盟關係に終止符を打った。總ての伊太利亞軍部隊は直ちにゲームから撤收させられる。爾後ゲームが終了するまで、伊太利亞軍に係る増援並びに補充が受領されることは一切ない。政治指標が 5 ポイント低下する。

[43] **獨逸空軍戦力資源**：西部戦線防空體制強化を圖る爲、ナチ統帥部は静謐な他の戦線から戦力引き上げを行う。NS 軍航空部隊保管ボックスに戦術航空ユニット 3 個を追加すること。本情勢が複数回出來した（或いは、NS 軍が 21 個の戦術航空ユニットを總てプレイに供している）場合、獨逸軍に對して 2 航空補充ポイントを附加すること。

[44] **環太平洋軍参戦**：既に朝鮮からの部隊再配置を完了した佛蘭西軍並びに英國（英系諸國民聯合）軍と同じく、環太平洋同盟軍が歐洲へ援軍を派遣する。此の増援グループに属する佛英軍陸上ユニットは（佛英兩國が地圖上に存在しないものと見做し）ルール 8.4 項第 1 乃至第 4 號に従って登場させること。

▶ 本情勢が出來したターンに展開させるユニット：
佛蘭西 —— 1×空挺補給ユニット、1×空挺コマンドー・グループ、1×落下傘師團、1×空中突撃師團、1×海兵師團、1×戦術航空ユニット、1×空輸ユニット、1×ヘリコプター・ユニット。
英國 —— 1×空中突撃師團、2×機械化師團、1×SBS コマンドー・グループ、1×豪州機械化師團、1×新西蘭機械化旅團、1×戦術航空ユニット、1×空輸ユニット。

▶ 本情勢が出來した次のターンに展開させるユニット：
日本 —— 1×近衛機械化師團、1×第一“ハイテク”混成師團、1×海軍特別陸戰師團。
西班牙 —— 1×近衛機械化師團、1×第一“ハイテク”混成師團、1×海軍特別陸戰師團。

[45] **西班牙再参戦**：西班牙が NATO 陣營に立つて再参戦し、同國の全部隊が保管ボックスを通じた増援としてゲームに登場する。

[46] **義勇部隊 (FW) 戦闘忌避**：義勇部隊の忠誠度を判定する爲、個々のユニットに就いてダイス 1 個を振る。ダイスの目が 1, 2, 3 であった場合、當該ユニットは 1 ステップを喪失する——此等の損失は政治指標のポイント數を低下させる。

[47] **義勇部隊 (FW) 狂信化**：當該ターンに於いて、FW ユニットは狂信攻撃並びに防禦を実施することが出来る。

星及び對衛星兵器からなる大規模ネットワークを擁していた。

- **スパイ衛星**：各自の初期移動フェイズ開始時に於いて、當該陣營は通常の諜報活動（15.0 章）に加えて、最大 10 個の敵スタックの内容を検めることが出来る。斯様なスタックの代わ

りに、實行プレイヤーは敵の保管ボックス一つの内容を検めることが出来る。

- **ナチ宇宙基地**：本宇宙ステーション及び衛星ネットワークは、1990 年代に中華人民國の科學的支援を得て開發されたものである。實用面に於ける重大な困難を克服したナチスは、宇

宙ステーションに装備される高エネルギー粒子ビーム兵器を開発した。 各々の**特別活動フェイズ**を通じて、NS 軍プレイヤーは地図上にある何れか任意の敵スタック 1 個を選択することが出来る。 ダイス 1 個に依り判定が為され、以下の結果が適用される：

ダイス	効果
1	NATO 軍 1 戦力段階撃破。 (NS 軍が選擇)
2	NATO 軍 2 戦力段階撃破。 (NS 軍が選擇)
3	NATO 軍 3 戦力段階撃破。 (NS 軍が選擇)
4	NATO 軍 4 戦力段階撃破。 (NS 軍が選擇)
5	効果なし。
6	効果なし。 加えてシステム破損或いは NATO 軍キラー衛星乃至對衛星ミサイルに依り撃破。 續いてダイス 1 個を振る。 ダイスの目が 1 - 3 の場合はシステムが破損した為、 当該ターンは使用不可。 ダイスの目が 4 - 6 の場合は宙ステーションが爆発し、 爾後ゲームが終了するまで使用不可。

▶ 攻撃成功の結果が出来た (即ちダイスの目が 1 - 4 であった) 場合、 當該標的ヘクス内に存在する總てのユニットは何れの場合も **OOS 状態**となる。 ナチ宙ステーションが攻撃を実施した場合、 政治指標が 1 政治ポイント低下する。 宙ステーションが撃破された場合、 政治指標が 5 政治ポイント低下する。

9. 生物戦:

▶ 斯様な破滅的兵器を使用することに依り、 雙方のプレイヤーは最悪の事態を誘発するかも知れない。 天候が降雨 [Precipitation] である場合、 生物兵器はこれを使用することが出来ない。 生物兵器を使用することが出来るのは、 何れか任意の敵都市 (ナチ化 / 非ナチ化の如何を問わない) に於いて **特殊作戦コマンドー** 或いは **殺人コマンドー** に依る場合に限られるものとする。 特別活動フェイズを通じて、 攻撃側プレイヤーは特別活動表に基きダイス判定を行う。 結果が "A" であった場合は當該ユニットが除去されるが、 "S" の場合は攻撃が成功したことを表す。

▶ 引き続きダイス判定を行い、 其の目が 1 - 4

であった場合に**伝染病が発生**する。 2 ヘクス以内に存在する彼我兩陣營の總ての陸上ユニット (不正規部隊を含むが、 此れを実施したユニットは除く) は**核攻撃表** (14.5 項参照) に於いてダイス 1 個を以って判定を行わなければならない。 其の際、 總てのユニットは同表の "都市の行" にあるものとして此れを取り扱うこと。

例外: 結果が "C" であった場合に當該ユニットに對して適用されるのは "汚染" ではなく汚染地帯からの**潰走** (11.13 項参照) であり、 併せて **OOS 状態**に置かれる。 なお、 本結果に依って汚染マーカーが配置されることはない。

▶ ダイスの目が 5 であった場合は "ブーメラン効果" が発生する。 生物戦を行った 攻撃側から最至近距離にある友軍都市が**生物戦**の中心地として選擇され、 上述と同一の結果が適用される。

▶ ダイスの目が 6 であった場合、 **伝染病**が歐洲全土に蔓延する。 社會機構が崩壊したものとしてゲームは實質的に終了する。 ゲームに関する限り、 生物戦攻撃を実施したプレイヤーが敗者となる。

▶ 都市に對する攻撃が成功を収めた場合、 防禦側陣營は引き続き**移動フェイズ**を通じて空輪移動を実施することが出来なくなる。 加えて、 所有者の選擇に基き、 **航空ユニット 1 個**が除去される。

▶ 當該プレイヤーターンが終了するまで、 彼我兩陣營のユニットは何れも生物戦攻撃の影響下にある都市ヘクスから 2 ヘクスの範囲内にある總てのヘクスを経由して**補給経路**を辿り、 或いは**移動**、 **退却**乃至**潰走**を実施することは一切出来ない。 ヘリコプター-航空ユニットは斯様なヘクス群の上空を飛行することが出来る。

▶ 一つの**生物戦攻撃**が成功を収める度に、 敵陣營を利する方向へ**政治指標**が 2 ポイント修正される。

▶ 1 回のゲーム中に於いて、 雙方のプレイヤーが斯様に成功した攻撃 (即ち "S" の結果が出来する) を複数回実施することは出来ない。

10. 改良強化新型マジノ線:

▶ 大獨逸國境に隣接する佛蘭西國內ヘクスは何れも**要塞化**されているものと見做される。 **移動コスト**及び **CRT 戦闘比シフト**に関する限り、 斯様な要塞化ヘクス群は**都市**と同様の取り扱いを受けると共に、 NATO 軍防禦 (に限る) ユニットは**退却を無視**することが出来る。 (例外: NS 軍原

子核突撃工兵に攻撃された場合を除く。)

11. 開戦前情勢:

▶ **開戦前情勢 [2], [12], [14]** 並びに **[15]** は何れも本シナリオでは適用されない。 假に**開戦前情勢 [17]** ("極東大戦争") が出来た場合、 **政治情勢 [44]: 環太平洋軍増援部隊**は何れもゲームに登場しない。

Nazi Initial Forces NS 軍初期配置部隊:

▶ 特に指定されている場合を除き、 總てのユニットは**完全戦力状態**を以って配置される。 (此處で謂う "總てのユニット" には、 オリジナルの **NNN** ゲームのものに加えて、 **Command Magazine Issue No. 8, 9** 並びに **10** に所収のヴァリアント・カウンターが含まれる——但し、 "ナチ殺人光線" カウンターを除く。)

○ **國防軍陸上ユニット:** 1×裝甲擲弾兵師團、 7×在郷師團を除く總てのユニット (Command Magazine Issue No. 8 所収の 5×**對艦噴進彈旅團**及び 1×**ヘルマン・ゲーリング "帝國狩獵長官" 聯隊**を含む。)

○ **SS 陸上ユニット:** 1×裝甲師團、 1×裝甲擲弾兵師團、 3×**秘密警察師團**、 6×**突擊隊師團**、 5×**パルチザン旅團**を除く總てのユニット (1×**原子核突撃工兵聯隊**を含む。)

○ **航空ユニット:** 18×**戰術航空ユニット**、 10×**全翼機**、 3×**空輸機**、 7×**SS へリコプター**。

核兵器: 6

○ **新秩序マーカー:** 19.23 項に従って配置すること。 (但し、 **Führer Bunker**、 **總統掩蔽壕**及び**勞働記念館**マーカーは競技から取り除き、 傍らに除けて置くこと。)

Deployment 展開:

▶ **國防軍**及び/或いは **SS** の 6 個師團は**東部保管ボックス**内でゲームを開始しなければならない。 **特殊作戦ユニット**は地図上にある何れか任意の **NATO 諸國內**に配置する。 此れ以外のユニットは **大獨逸國內**でゲームを開始する。

Reinforcements 増援:

M+1:

○ 東部保管ボックス内の全ユニットが使用可能となる。

M+2:

○ 1×SS 裝甲師團、 1×SS 裝甲擲弾兵師團、 1×**國防軍裝甲擲弾兵師團**、 7×**在郷師團**、 3×**保安警察師團**、 3×**突擊隊師團**。

M+3 :

- 3×突撃隊師團。

SS FW :

- 当該ユニット群は **Command Magazine Issue No. 8** 所収のルール第3號 (英文解説書 28 頁) に従って生産することが出来る。

**Replacements
補充 :**

- 3×国防軍陸上補充ポイント (毎ターン)
- 3×SS 陸上補充ポイント (")
- 3×国防軍航空補充ポイント (")
- 3×SS 航空補充ポイント (")
- 1×“共通”補充ポイント* (")

*: 此れは NS 軍のあらゆる兵科の爲に使用することが出来る。

**NATO Initial Forces
NATO 軍初期配置部隊 :**

▶ 特に指定されている場合を除き、總てのユニットは完全戦力状態を以て配置される。(此處で謂う“總てのユニット”には、オリジナルの **NNN** ゲームのものに加えて、**Command Magazine Issue No. 8** に所収のヴァリアント・カウンターが含まれる。)

- **佛蘭西** : 總てのユニットを佛蘭西及び/或いは白耳義國內 (並びに航空部隊保管ボックス) に配置する...3×補給ユニット, 1×砲兵司令部, 3×MP 師團, 7×装甲師團, 2×装甲騎兵師團, 1×山嶽師團, 2×機械化歩兵師團, 2×在郷師團, 1×戦略航空ユニット, 4×戦術航空ユニット, 1×空輸, 2×ヘリコプター。

○ **米 國** :

- 佛蘭西國內に配置.....2×補給ユニット, 2×装甲ユニット, 2×機械化師團, 1×減少戦力状態の装甲師團, 1×減少戦力状態の機械化師團, 2×装甲騎兵聯隊, 2×砲兵司令部, 1×空挺旅團, 1×特殊作戦部隊, 1×MP 旅團, 1×電子戦旅團。

- 航空ボックス内に配置.....3×戦術航空ユニット, 2×戦略航空ユニット, 1×空輸, 2×ヘリコプター。

- **米國緊急展開部隊** (注意: 本来の **NNN** ゲームから変更される) :

- 政治情勢“米國緊急展開部隊”が出来たターンに展開させる...1×空挺師團, 1×レンジャー聯隊, 1×海兵師團, 1×山嶽歩兵師團, 1×特殊作戦部隊, 2×戦術航空ユニット, 2×空輸ユニット, 2×ヘリコプター。

- 次のターンに配置..... 1×空挺補給ユニッ

ト, 1×機甲師團, 2×空中突撃師團, 1×機械化師團, 1×空中騎兵旅團, 1×憲兵旅團, 1×特殊作戦部隊, 1×米國特殊作戦飛行部隊, 2×戦術航空ユニット, 1×空輸ユニット, 2×ヘリコプター。

○ **英 國** :

- 白耳義國內に配置.....1×補給ユニット, 3×機甲師團, 1×空中突撃旅團, 1×電子戦旅團。

- 英國國內に配置.....1×補給ユニット, 1×歩兵師團, 1×海兵旅團, 1×空挺旅團, 1×空中突撃旅團, 1×グルカ旅團, 1×機械化師團。

- 北愛蘭に配置.....2×歩兵旅團, 1×憲兵旅團。

- 任意の箇所に配置.....1×特殊作戦部隊。

- 航空保管ボックスに配置.....4×戦術航空, 1×空輸ユニット, 1×戦略航空ユニット, 2×ヘリコプター。

○ **白耳義** :

- 白耳義國內に配置.....1×補給ユニット, 1×機械化師團, 1×機械化師團 (減少戦力状態), 2×在郷師團, 1×憲兵師團, 1×空挺コマンドー。

- 航空ボックス内に配置.....1×戦術航空ユニット, 1×ヘリコプター。

○ **加 拿 大** :

- 白耳義國內に配置.....1×機械化師團。

○ **伊 太 利 亞** :

- 伊太利亞國內に配置.....1×補給ユニット, 1×山嶽補給ユニット 1×機甲師團, 3×機械化師團, 1×空挺コマンドー旅團, 1×歩兵師團, 1×憲兵師團, 2×山嶽師團。

- 航空ボックス内に配置.....2×戦術航空ユニット, 1×空輸ユニット, 2×ヘリコプター。

○ **葡 萄 牙** :

- 航空ボックス内に配置.....1×機械化旅團。

○ **西 班 牙** :

- 佛蘭西國內に配置..... 1×補給ユニット, 1×機甲師團, 1×機械化師團, 1×空挺師團。

- 航空ボックス内に配置.....1×戦術航空ユニット, 1×空輸ユニット, 1×ヘリコプター。

○ **土 耳 其** : なし。○ **以 色 列** :

- 佛蘭西又は白耳義國內に配置.....1×補給ユニット 1×機甲師團, 1×特殊作戦旅團。

- 航空ボックス内に配置.....1×戦術航空ユニット, 1×ヘリコプター。

○ **NATO Supra-National
NATO 超國家部隊 :**

- NATO 諸國內の何處かに配置.....1×補給ユニット, 1×空中突撃補給ユニット, 1×空中突撃師團, 1×空中突撃旅團, 1×砲兵司令部, 1×機械化師團, 2×特殊作戦旅團, 1×特殊作戦師團, 1×除染旅團, 1×歐洲聯合軍總司令部。

- 航空ボックス内に配置.....1×戦略航空ユニット。

○ **核 兵 器** : 9**NATO/Neutral Reinforcements & Reinforcements
NATO 軍 / 中立國の増援並びに補充**

▶ 下記の例外を除き、シナリオ I に係る一覽及び指示に従い此等を配置すること。(増援及び補充を含む。)

- **日 本** : (政治情勢 [44] 出来後) 毎ターン 1×陸上補充ポイント。

- **豪 洲 / 新 西 蘭** : (政治情勢 [44] 出来後) 4 ターン毎に 1×陸上補充ポイント。(原註: 此等のユニット群は英國軍補充ポイントを使用して再建することが出来る。)

M+2 :

- **佛 蘭 西** : (以下を除去) 1×機甲騎兵師團, 1×MP 師團。

- **米 國** : (以下を除去) 2×戦術航空ユニット, 2×ヘリコプター。

M+4 :

- **英 國** : (以下を除去) 1×歩兵師團。

- **加 拿 大** : (以下を除去) 1×歩兵旅團。(以下を追加) 1×機械化歩兵旅團。

M+5 :

- **英 國** : (以下を除去) 1×歩兵師團。

**Neutral
中立國 :**

▶ シナリオ I に係る一覽及び指示に従い此等を配置すること。(増援及び補充を含む。)

▶ (選擇ルール) 無政府主義サイバーパンク旅團は (政治指標が 51 以上である場合) NATO 軍プレイヤーの指揮下に置かれた状態でゲームを開始するものとする。

翻譯履歴: 2006 年 1 月 10 日 發譯

2006 年 9 月 20 日 譯畢

2009 年 6 月 30 日 改訂

More NNN 2005 'Total War' Optional Variants version 2.0

Variant Design: David Lamb©2005-2010

Japanese Translation: Shin-ichi "Moltke_SS" SHIMIZU

1. 政治情勢

- 以下の新政治情勢を同表に追加すること。
- [48] 露西亞軍介入**、**[49] 露西亞軍撤収**
- * 露西亞軍ユニットはあらゆる面に於いて獨逸軍と同様に取り扱うものとするが、以下の例外が存在する：
 - 國防軍 / SS 補給ユニットを使用することが出来ない。(逆も又然り。)
 - ナチ記念碑の存在するヘクス内へ進入することが出来ない。
 - 獨逸軍 / SS ユニットとスタックすることが出来ない。
 - ▷ 露西亞軍は 2×陸上及び 1×航空補充ポイントを毎ターン受領する。露西亞軍ユニットは獨逸軍ユニットと全く同様に東部戦線保管ボックスから地圖上へ進入することが出来る。假に露西亞軍介入が発生すると、政治情勢 [49] (露西亞軍撤収) が発生した場合を除き、政治情勢 [5] (露西亞軍大攻勢) はゲーム終了まで無効となる。

2. 原子核突撃工兵

- ▷ NSP が戦闘に使用された場合は常に政治指標を 1 ポイント低下させること。假に戦闘結果表に基いて必要とされた場合、本ユニットが最初に除去される対象でなければならない。

3a. 米國緊急展開部隊

- ▷ 本情勢が出来た場合、政治指標を 10 ポイント低下させること。

3b. 環太平洋軍参戦

- ▷ 本情勢が出来た場合、政治指標を 5 ポイント低下させること。

4. 対空砲 / 高射砲

- ▷ 21 世紀の高射砲及び地対空ミサイル兵器に係る致死能力の増大化に鑑み、本“2005”ヴァリアント・シナリオでは此等の兵器がより破壊的であり、併せて、現代歐洲の戦場に於いては飛行目標に對峙する地上部隊の隠蔽能力を識別することはより一層困難であるものと想定している。斯様な次第で荒地、山嶽或いは都市ヘクス内に在るユニットに對する阻止爆撃 (10.11 項) に關しては何れも“-1”のダイス修正値が課されるものとする。現實のダイスの目が“1”であった場合は戦略航空ユニットを以って總ての結果“A”の要件を充たすことが出来る。ダイスの目が“2” (-1 修正値の適用前) であった場合、本要件に充當することが出来るのは TAC / FW / HC 航空ユニットに限られるものとする。

Political Events Table 政治情勢表

Index Level 指標段階				Event 政治情勢
1-25	26-50	51-75	76-100	
-	4	4	4-5	露西亞軍介入 [48] *
2-3	-	-	-	露西亞軍撤収 [49]

Event Explanations 情勢變化の説明

- [48] 露西亞軍介入**: NATO との戦争に介入させるべく、獨逸は政治的資本を費やしてクレムリン指導層を説得した。初めて本情勢が出来た場合は政治指標を 10 ポイント低下させると共に、以下のヴァリアント・カウンター (自作する必要がある) を東部戦線保管ボックスに追加すること：
 - (第 8 親衛軍) 1×補給ユニット (0-1-4/0-1-3), 1×機甲師團 (7-4-6/3-2-6), 4×機械化師團 (5-5-6/2-3-6), 1×空挺師團 (4-4-5/2-3-5), 1×“Katyusha” 砲兵師團 (4-2-4/2-1-4), 1×“Spetznaz” 旅團 (1-1-3), 2×戦術航空機 (2-1-2), 1×輸送機 (0-0-0)
 - ▷ 二度目に本情勢が出来た場合は政治指標を 5 ポイント低下させると共に、以下のヴァリアント・カウンターを東部戦線保管ボックスに追加すること：
 - (第 20 親衛軍) 1×補給ユニット (0-1-4/0-1-3), 1×機甲師團 (7-4-6/3-2-6), 3×機械化師團 (5-5-6/2-3-6), 1×機械化師團 (3-4-6/1-2-6), 1×“Katyusha” 砲兵師團 (4-2-4/2-1-4), 1×“Spetznaz” 旅團 (1-1-3), 2×戦術航空機 (2-1-2), 1×戦略航空機 (1-0-3)
- * 左記の「1. 政治情勢」を参照。
- [49] 露西亞軍撤収**: クレムリン内部の穏健派が強硬派の愚行を制止させた！ 露西亞軍ユニットは總て地圖上から撤収させられる。爾後露西亞軍の増援或いは補充は受領されない。露西亞軍介入も出来し得ない。

- ▷ 空中機動ユニットは通常の陸上移動を実施している際には ZOCs の影響下に置かれるが、特別な空中機動移動を実施している場合、同ユニットは ZOC 退出時の移動ポイントに關する罰則を無視することが出来る。但し、各 ZOC を退出する度に、當該ユニットは高射砲に因る損害を蒙る危険性を冒すこととなる。空中機動ユニットが ZOC 或いは敵の非正規戦ユニットが占有するヘクス上空を通過する度にダイス 2 個を振る。ダイスの目が“3 以下”であった場合、同ユニットは 1 ステップロスに蒙るものとする。
- ▷ 航空ユニット或いは輸送機に依り空輸移動が爲されているユニットは、空中にある間は ZOCs の影響下に置かれることはない。
 - ▷ HC ユニットに依り空輸移動が爲されているユニットは ZOC 高射砲の影響下に置かれるものとする。斯様なヘクス内へ進入する度にダイス 2 個を振る。ダイスの目が“3 以下”であった場合、當該 HC ユニットを、或いは被空輸ユニットから 1 戦力段階を除去する。(所有者が選擇する。) HC ユニットが除去された場合、空輸されていたユニットは直ちに現在位置しているヘクス内に配置される。當該ヘクスを敵が占有している場合、直ちに機動突撃を実施する。
 - ▷ 空挺 / 空中機動能力を有している場合を除

き、當該ユニットは現行ターンに於いて (上記を除き) 何らかの戦闘に参加することは一切出来ない。

5. 化學戰

- ▷ 化學戰を実施する總てのターンに於いて NS 軍は 2 政治ポイントを消費する。(世界各國の反撥に依る政治的失墜の影響を反映している。)

6. 米國 / NATO 交戦義務

- ▷ 政治情勢 [10] が出来た際は引き続きダイス 1 個を振り、結果が“1-3”であった場合は撤収が発生せず、米國軍はゲームに留まるものとする。尚、“4-6”のダイス判定に依って米國軍ユニットが總て取り除かれるまで、本結果が出来する度に政治指標を 5 ポイント上昇させること。

BoscoLamb - Jan 21, 2009 6:02 pm

(1005 Total: 1196)

(前略) 露西亞軍介入の爲に政治指標が低下する理由を問うメールが届いた。對 NATO 戦への關與と云う危険な一步を露西亞が踏み出すことに就いて獨逸が相當の報酬を約束しなければならないことと (露西亞への) 關連経費、そして本件が引き起こすかも知れない獨逸の追従者 / 同盟國及び其の他の世界各國に於ける観念論的損失と幻滅と

が其の理由である。

TRANSLATOR'S NOTE

- ▶ 本稿は David Lamb 氏が 2005 年に自身のウェブサイトにて公表したヴァリアント・シナリオ「The Nazi Total War 2005」に対する追加ヴァリアントである。其のオリジナルは [ConsimWorld Forum, "NNN" Folder](#) の発言番号 998 からダウンロードすることが可能である。
- ▶ 発言番号 1124 (version 2.0) に基づく訂正・追加箇所は青文字で示した。
- ▶ 英文規則では項目番号“3.”として纏められていた箇所を本稿では“3a.”と“3b.”とに分けた。
- ▶ 第 6 項の内容に関しては、後述の自家用規則「9.17 制限地域」の内容と異なる箇所を**橙色の文字**で示した。なお、此の自家用規則は [Board GameGeek](#) にて公表されている“ZOC and Air Box Suppression Raids rules from Consim-world”の内、前半の“9.17 Zones of Control”を譯出したものである。其の内容は [ConsimWorld Forum, "NNN" Folder](#) の発言番号 223 の末尾に 224 の一文を附記したものである。

9.17 Zones of Control 制限地域:

- ▶ 殆どのユニットは周囲のヘクス群に影響を及ぼす能力を有する。此の影響は**制限地域 (ZOC)** に依り反映され、ZOC を有するユニットの周囲 6 ヘクスに波及される。不正規戦ユニットを除き、總てのユニットは自身が占有するヘクス内に ZOC を及ぼすものとする。ZOC は都市ヘクス及び山嶽ヘクス或いは河川を除く水面ヘクスサイドの対岸に及ぶことはない。
- ▶ 師團規模のユニットは何れも ZOC を有する

ものとし、師團相當数のユニット群 (例えば 3 個旅團乃至聯隊ユニット) が存在する一ヘクスからも此れが及ぼされるものとする。不正規戦ユニットは ZOC を有せず、師團相當數に此れを計上することも出来ない。敵 ZOC 内に存在する友軍ユニットが此れを無効化することはない。謂うまでもなく、友軍 ZOC が友軍ユニットに對して何らかの影響を及ぼすことは一切ない。

- ▶ **不正規戦ユニット** (事由に依っては**空中機動ユニット**も)を除き、總ての陸上ユニットは ZOC の制限下に置かれるものとする。其の作用の第一は、斯様なヘクスを**退出**する爲には**追加 2 移動ポイント**の消費を要するというものである。假に複数のユニットが単一のヘクス内に ZOC を及ぼしていたとしても、此れに依って退去に係るコストが増加することはない。各々のヘクスに就いて ZOC に係る追加コストを消費することが可能である場合、ユニットは単一ターンに於いて複数の ZOCs を退出することが出来る。敵 ZOC 内で**突破移動フェイズ**を開始したユニットは一切移動することが出来ない。(空中機動ユニットを除く: 下記参照)
- ▶ **空中機動ユニット**は通常の陸上移動を実施している際には ZOCs の影響下に置かれるが、特別な**空中機動移動**を実施している場合、同ユニットは ZOC 退出時の移動ポイントに関する罰則を無視することが出来る。但し、各 ZOC を退出する度に、當該ユニットは**高射砲**に因る損害を蒙る危険性を冒すこととなる。空中機動ユニットが ZOC 或いは敵の非不正規戦ユニットが占有するヘクス上空を通過する度にダイス 1 個を振る。ダイスの目が“1”であった場合、同ユニットは 1 ステップロスを蒙るものとする。
- ▶ **航空ユニット**或いは「**輸送機**に依り**空輸移動**

が爲されているユニット」は、空中にある間は ZOCs の影響下に置かれることはない。

- ▶ **HC ユニット**に依り**空輸移動**が爲されているユニットは **ZOC 高射砲**の影響下に置かれるものとする。斯様なヘクス内へ進入する度にダイス 1 個を振る。ダイスの目が“1”であった場合、當該 HC ユニットの、或いは被空輸ユニットから **1 戦力段階**を除去する。(所有者が選擇する。)
- ▶ **HC ユニット**が除去された場合、空輸されていたユニットは直ちに現在位置しているヘクス内に配置される。當該ヘクスを敵が占有している場合、直ちに**機動突撃**を実施する。空挺能力を有している場合を除き、當該ユニットは現行ターンに於いて (上記を除き) 何らかの戦闘に参加することは一切出来ない。
- ▶ **補給**もまた ZOCs の影響下に置かれる。當該ヘクス内に友軍の非不正規戦ユニットが存在し、以って同ヘクスに及ぼされている敵 ZOC が無効化されている場合を除き、補給線は ZOC に依って遮断されているものと見做される。本件が陸上移動に對する ZOC の効果と異なる點に留意すること。
- ▶ 戦闘後の退却が ZOCs に依る影響を蒙ることはない。(譯註: 此處までは #223 と同文)
- ▶ 當該ユニットが進入豫定である隣接ヘクスが「間もなく機動突撃が実施される」対象である場合、陸上ユニットの **ZOC 退出**に係る罰則は無視されるものとする。MA に關する規則に基いてコストは既に適用されているのである。

翻譯履歴: 2009 年 1 月 13 日 發譯
 2009 年 1 月 19 日 譯畢
 2009 年 11 月 30 日 改稿
 2010 年 5 月 7 日 改訂三版

Russian Armed Forces Order of Battle for More NNN 2005 'Total War' Variants

TRANSLATOR'S NOTE

- 上の 2 行は第 8 親衛軍 (第 1 次露西亞軍介入: 第 2 西方戦線軍), 下の 2 行は第 20 親衛軍 (第 2 次: 第 1 西方戦線軍) 所属部隊である。
- 部隊名と略號は [ConsimWorld Forum, "NNN" Folder](#) の発言番号 1016 (其れ等は總て Greg Hunter 氏が作成した“NNN: Eastern Front Variant, Russian/NATO Order of Battle – Western Front”に準據したものである) に依ったが、Dave Lamb 氏の自作カウンターに表示されていた本来の略號“8GA”及び“20GA”は何れも反映させなかった。(因みに、嘗て GH 氏は **NNN: EF** の露西亞軍に關して、第 8 親衛軍や第 20 親衛軍等の“軍”を“國籍”と同様に取り扱う、一種の補給制限ルールを構想していたことがある。)
- 國籍表示 (“RU”) は ISO 3166 に基いたものであり、カウンターの配色は譯者が (現露西亞陸軍の軍服と徽章をイメージして) 恣意的に設定したものである。
